

# 第1学年 生活科 学習構想案

菊池市立泗水小学校 教諭 澤村 舞花

## 1 単元構想

<b>単元名</b>		「たのしいあき いっぱい」 (東京書籍「あたらしいせいかつ」P.70～82)	
<b>単元の目標</b>		秋の自然と関わる活動を通して、遊びや遊びに使う物を工夫してつくったり、身近な自然の違いや特徴を見付けたりすることができ、自然の様子や四季の変化に気付いたり、遊びの面白さや自然の不思議さに気付いたりするとともに、身近な自然を取り入れ自分の生活を楽しくしようとするができるようにする。	
<b>単元の評価規準</b>	<b>知識・技能</b>		<b>主体的に学習に取り組む態度</b>
	① 色や形、においなど、秋の校庭の自然の様子と、夏の校庭の自然の様子との違いに気付いている。 ② 身近な自然の様子が、夏から秋になって変化していることに気付いている。 ③ 季節によって楽しめる遊びが変わることなど、季節によって生活の様子が変わること気付いている。 ④ いつも同じ現象が起こるなど、自然の中に一定のきまりがあることに気付いている。 ⑤ 自分が遊びを創り出したことで、みんなが楽しく遊ぶことができるようになったことに気付いている。	<b>思考・判断・表現</b> ① 幼児期や日常の経験を思い起こして、秋の自然の特徴を探している。 ② 秋の自然の変化を予想して、夏の自然との違いを探している。 ③ 秋の自然物を使うと、どんな遊びになりそうかを想像しながら、遊びに使う自然物を選んでいく。 ④ 様々な自然物を試しながら比べ、材料を選び、おもちゃをつくっている。	① 秋の自然と関わりたいという思いをもち、試行錯誤しながら、秋の自然を生かした遊びを楽しもうとしている。 ② 季節を生かして遊ぶことに楽しさと手応えを感じ、これからも季節の遊びを楽しもうとしている。 ③ 自分で遊びを創り出す面白さを実感し、これからも遊びを創り出そうとしている。
<b>単元終了時の児童の姿 (単元のゴールの姿・期待される姿)</b>			
秋の自然と関わる活動を通して、自然の様子や四季の変化に気付き、身近な自然を取り入れた遊びを工夫しながら創り出し、みんなと楽しみながら活動しようとする児童。			
<b>単元を通した学習課題 (単元の中心的な学習課題)</b>		<b>本単元で働かせる見方・考え方</b>	
身の回りにある秋を見付け、秋を使ったおもちゃを作り、みんなで遊ぼう。		身近な自然を取り入れた遊びや遊びに使う物づくりを通して、その面白さや自然の不思議さに気付き、みんなと楽しみながら遊びを創り出そうとすること。	
<b>指導計画と評価計画 (21時間取扱い)</b>			
<b>過程</b>	<b>時間</b>	<b>学習活動 (「問い」を設定しても可)</b>	<b>評価の観点等</b> ★は記録に残す評価の場面で「具体的評価規準」
一	3	○校庭で初秋の草花や樹木、虫などの動植物を観察したり、木の実などを使ってその場で友だちと簡単な遊びをしたりする。 ○夏の様子と比べて、変わっているところを話し合い、記録カードに書いて紹介する。 夏と秋の違いは何だろう。	★【知①】 (発言・観察・記録カード) ○色や形、においなど、秋の校庭の自然の様子と、夏の校庭の自然の様子との違いに気付いている。 ★【思①】 (発言・観察) ○幼児期や日常の経験を思い起こして、秋の自然の特徴を探している。

二	4	<p>○公園や校区で秋を探すことについて話し合う。</p> <p>○ルールやマナーも守りながら公園へ行き、遊んだり観察したりする。</p> <p>○公園や校区での活動で楽しかったことや気付いたことについて記録カードに書き、話し合う。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">校区にはどんな秋があるのだろう。</p>	<p><b>【知②】</b>（発言・記録カード）</p> <p>○身近な自然の様子が、夏から秋になって変化していることに気付いている。</p> <p><b>【思②】</b>（観察・記録カード）</p> <p>○秋の自然の変化を予想して、夏の自然との違いを探している。</p>
三	3	<p>○見つけた葉や木の実等を使って遊ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こすりだし</li> <li>・かたちづくり</li> <li>・おちばのふとん 等</li> </ul> <p>○遊び方や作ったものを紹介する。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">秋を使ってどんな遊びができるだろう。</p>	<p><b>【思③】</b>（観察・発言）</p> <p>○秋の自然物を使うと、どんな遊びになりそうかを想像しながら、遊びに使う自然物を選んでいる。</p> <p><b>【主①】</b>（観察）</p> <p>○秋の自然と関わりたいという思いをもち、試行錯誤しながら、秋の自然を生かした遊びを楽しもうとしている。</p> <p><b>【知③】</b>（作品・記録カード・発言）</p> <p>○季節によって楽しめる遊びが変わることなど、季節によって生活の様子が変わること気付いている。</p> <p><b>【主②】</b>（発言）</p> <p>○季節を生かして遊ぶことに楽しさと手応えを感じ、これからも季節の遊びを楽しもうとしている。</p>
四	7	<p>○集めた材料からどのようなおもちゃを作ることができるか考える。</p> <p>○友だちと協力しながらおもちゃを作る。</p> <p>○作ったもので遊び、より楽しくなるように遊び方やルール等を考える。</p> <p>○園児を招待する「おもちゃランド」に向けて、園児が楽しむことができるルールやおもちゃの工夫を考える。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">幼稚園の子どもたちが楽しく遊ぶために、どんな工夫ができるだろう。</p>	<p><b>【知④】</b>（発言・観察）</p> <p>○いつも同じ現象が起こるなど、自然の中に一定のきまりがあることに気付いている。</p> <p><b>【思④】</b>（観察）</p> <p>○様々な自然物を試しながら比べ、材料を選び、おもちゃをつくらせている。</p>
五	4	<p>○作ったおもちゃで園児と遊ぶ準備をする。</p> <p>○園児を「おもちゃランド」に招待し、一緒に遊ぶ。</p> <p>○「おもちゃランド」について振り返り、記録カードに書いて紹介する。</p>	<p><b>【知⑤】</b>（発言・記録カード）</p> <p>○自分が遊びを創り出したことで、みんなが楽しく遊ぶことができるようになったことに気付いている。</p> <p><b>【主③】</b>（観察・発言・記録カード）</p> <p>○自分で遊びを創り出す面白さを実感し、これからも遊びを創り出そうとしている。</p>

## 2 単元における系統及び児童の実態

学習指導要領における該当箇所(内容, 指導事項等)	
小学校学習指導要領 身近な人々、社会及び自然と関わる活動に関する内容 内容(5) 季節の変化と生活、内容(6) 自然や物を使った遊び	
教材・題材の価値	
本教材は、身近な自然と関わる活動を通して、自然の様子や四季の変化、遊びを工夫して創り出すことの面白さ、自然の不思議さに気付き、自然を取り入れて生活を楽しくしていこうとすることに適している。	
本単元における系統	
「なつが やってきた」 ・こうていで くさばなやむしを さがそう ・みんなの こうえんで あそぼう ・みずで あそぼう ・たのしかった ことを つたえよう	「たのしいあき いっぱい」 ・こうていで あきを さがそう ・こうえんで あきを さがそう ・はっぱや みで あそぼう ・あきの ことを つたえよう ・あきのおもちゃをつくろう ・いっしょに あそぼう
	「ふゆを たのしもう」 ・こうていで ふゆを さがそう ・ふゆの こうえんに いこう ・そとで あそぼう
児童の実態(単元の目標につながる学びの実態)	
■本単元の学習に関する意識の状況	
調査内容	
どの季節が一番好きですか。 春7人、夏19人、秋2人、冬3人 <b>【理由】</b> 春：ぼかぼかしている、風が気持ちいい、花がたくさんある 夏：プールに入ることができる、夏休みがある、カブトムシをとることができる 秋：気温がちょうどいい、葉っぱがたくさんある 冬：雪がふる	
虫取りは好きですか。 とても好き18人、まあまあ好き6人、あまり好きではない5人、好きではない2人	
草花遊びは好きですか。 とても好き23人、まあまあ好き3人、あまり好きではない2人、好きではない3人	
幼稚園や保育園で秋遊びをしましたか。(覚えている人) 10人 <b>【何をしたのか】</b> どんぐりあつめ、落ち葉でお面づくり、おみせやさん	
■考察	
虫や草花に触れることが好きな児童が多く、これまでの授業や休み時間等で虫や草花探しをしたり、草花であそんだりする活動からも好きな様子が見えてくる。好きな季節については、その理由から、それぞれの季節の特徴やよさを感じていることが分かる。一年間の中でも活動時間が長く、長期休暇もあり、様々な体験ができる夏が好きな児童が多く、今回扱う秋が一番好きだと答える児童は少数であった。就学前での秋の活動についても秋に触れた印象が薄い。そのため、今回の単元の学習は、秋について触れる大切な単元となる。秋は、他の季節よりも様々な葉や木の実に触れることができることやそれらを使って様々な遊びを創り出すことができる秋のよさや色彩の変化等を感じるとともに、秋を使ったおもちゃを考え、創り出す活動等を通して秋を楽しんでほしい。	

### 3 指導に当たっての留意点

- 校庭や校区で秋を感じたり、探したりする時間を多く設けることで、四季の変化に気付いたり、遊び方を考えたりできるようにする。
- これまでの写真（同じ場所を記録したもの）や記録カードと比較して四季の変化が視覚的に分かるようにする。
- おもちゃを作った際には、園児の立場になって一度学級で遊んでみることで、相手意識を持って園児が楽しむことができる遊び方を考えられるようにする。
- 園児に遊びを教えたり、一緒に遊んだりする活動を2年生のおもちゃランドにつなげる。

#### 【ESDの視点から課題発見と自己実現の場となるSDGsの取組】

##### 単元を終えて次の学習を促す

- ・秋を使った遊びをいろいろな人に話したり、一緒に遊んだりする。
- ・季節の特徴を捉えた遊び方を考えて遊ぶ。
- ・草花や虫等の生き物を大切にする。



### 4 ESDとの関連

#### (1) 本学習で働かせるESDの視点（見方・考え方）

- ① 多様性・・・身の回りには、四季によって異なる草花や虫がいることや色や形等の様子を変えるものがあること。
- ② 連携性・・・友だちと協力して自然を活用した遊び方やおもちゃの作り方を考えたり、実際に遊んだりすること。
- ③ 責任制・・・最後までおもちゃを仕上げることや自分の役割を果たすこと。

#### (2) 本学習で育てたいESDの資質・能力

- ① コミュニケーションを行う力  
どのような遊び方ができるか、どのような工夫をするとより楽しい遊びになるかを話し合ったり、説明したりする。友だちや園児と楽しく活動する。
- ② 他者と協力する態度  
楽しく遊んだり、よりよいものを作り上げたりするために友だちと協力する。
- ③ 進んで参加する態度  
遊び方やおもちゃの工夫を考え、進んで季節遊びやおもちゃ作りを行う。

#### (3) 本学習で変容を促すESDの価値観

- ① 自然環境、生態系の保全を重視する  
季節の変化を感じたり、季節の生き物と触れ合ったりしていくために、身近にある自然環境をこれからも大切にしていく。
- ② 幸福感に敏感になる、幸福感を重視する  
自然環境が自分たちの生活を豊かにしていることや他者と関わることの楽しさに気付く。

#### (4) 達成が期待されるSDGs

15 陸の豊かさも守ろう